

大阪府泉大津市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方法
活用額（円）	14,200,100	4,362,000	18,562,100	47.7%	木材普及に繋がるイベント等を実施しつつ、大規模な施設改修等にも活用できるように柔軟に基金運用を行う。
譲与額（円）	30,567,000	8,343,000	38,910,000		
基金利子（円）	886	1,637	2,523		

■令和6年度の具体的な活用方法

区分	事業区分	事業（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
木材利用	木造公共建築物の整備等	2,944,700	2,944,700	木製2連ブランコの設置：老朽化した金属製遊具を木製遊具に再整備した。
	森林・林業・木材普及活動等	251,900	251,900	ベンチづくり体験学習：木材利用の講座と間伐材を使ってベンチをつくり公園に設置した。
	森林・林業・木材普及活動等	995,500	995,500	認定こども園や幼稚園、保育所のクラス表札やテーブル、その他木製玩具を大阪産木材を利用した製品に入れ替えることで子どもたちの木材の愛着を育むとともに、地元産木材の利用促進を図った。
	森林・林業・木材普及活動等	110,000	110,000	木育や体験を通じて、森林整備や環境保全、防災への理解を深める機会を提供し、併せて、関連する図書館資料を活用した教室を展開することで、資料の有効な使い方を周知し、図書館のブランド価値向上を図った。
	基金積立	8,344,637	8,344,637	泉大津市森林環境譲与税基金積立事業
	合計	12,646,737	12,646,737	

■今後の実施計画

- ・公共施設での木材利用：地域材を活用し、公共施設の内装や机、本棚などに木材を使用し、木の温かみを体感できる環境を整備する。
- ・木材普及啓発活動：木工教室やワークショップを開催し、子どもたちや市民に木材の魅力や森林保全の重要性を伝える活動を推進する。
- ・柔軟な活用への備え：大規模な施設改修や事業などに活用できるよう、基金を積み立てる。